



# みなみ 園だより 7がつ

令和6年7月1日  
目黒区立南保育園園長

昨年度、猛暑により夏の活動が思うようにできなかったのが今年度はプール活動や水遊びを6月に早めたのですが、その途端梅雨入りとなり、思うようにいきません。しかし、先日5歳児クラスに雨の日に遊びに行ったときのこと、「園長先生、来て来て」と窓のところへ連れていかれました。「見て。雨がもぐらたたきみたいなんだよ」と嬉しそうに言います。「ほんとだ。もぐらたたきみたいになってるね」と返すと「なんかかわいいね」と子どもたち。激しく地面をたたきつけている雨がなんだかかわいく思えてきました。今まで雨をかわいいと思ったことがなかったので子どもたちと過ごしていると素敵な感じ方に心が動きます。今年は憂鬱な雨も気持ちを切り替えて乗り切りたいと思います。今年の夏も猛暑が予想されていますが、工夫しながら夏ならではの活動を行っていききたいと思います。

## 今月の行事予定



七夕 幼児クラス  
0歳児検診

身体計測、避難訓練  
(全クラス)

お部屋で青虫を見ていた時の事  
保育者「青虫って何になるんだろうね」

A「んー、バッタじゃない」

子どものつぶやき  
(2歳児クラス)

昆虫の絵本に載っている「こおいむし」を見ていた時の事、  
B「あー、ゆで卵だ」  
よく見ると背中に白いプチプチが  
たくさんついていました

🎵🍌🍌🍌🍌🍌🍌🎵🎵🍌🍌🍌🍌🍌🍌🎵 今月は『田植えの様子』を紹介します 🎵🍌🍌🍌🍌🍌🍌🎵

(5歳児クラス)

昨年度の田んぼの土をほぐす作業から田んぼづくりが始まりました。土の塊を崩していくと根っこや幼虫がでてきて大騒ぎしながら取り除いていきます。そこに水を投入すると、一気に泥んこ遊びさながらの手も足も顔も真っ黒になって土を泥状にする“代掻き”を経験しました。すると「はー、大変だな。これはいつまで続くの」とつぶやく子がいます。「え、まだ田植えしてないよ」と友達に言われ笑い合っていました。水と混ぜた土が沈殿した数日後、いよいよ田植えです。「苗をぎゅっと土に入れて、すーっと優しく放す」を合言葉に苗が立ち上がると「できた」と嬉しそうに作業を続けていました。「米」という字は「八十八」という文字からつくられたといわれています。お米ができるまでには88回ものたくさんの手間がかかります。生長を楽しみ、大切に手をかけて育てていきたいです。

# 特集

今月は0・1・2歳児クラスの子どもたちの様子を紹介します。

## 【0歳児 ありんこ組】

<散歩の様子> 天気のいい日は南一丁目公園にお散歩に行きます。子どもたちは好きなところにハイハイで移動しながら探索を楽しんでいます。



「しゅっぱつ、しんこう」

「これは、なにかな」



「あっちはなにがあるかな」

## 【1歳児 てんとうむし組】

<室内遊びの様子> 落とし遊びなどをじっくりしたり、室内でもいつでも体を動かして遊べるようマットで坂道を作ると、のぼったり滑ることに大興奮です。



「よいしょ、よいしょ」  
「たかいたかーい」「やっほー」



「たくさん入って面白いな」

## 【2歳児 みつばち組】

<どろんこ遊びの様子> 手や足をどろんこにしな  
がら、水や泥の感触から日々色々な発見をしています。



どろんこ、気持ちいい  
あっ、手がかくれちゃったね



どろんこの手で  
「どろんこおばけだ」  
「キャー、にげよう」